

養殖業成長産業化推進事業 について

令和7年1月

水産庁

養殖業成長産業化推進事業

【令和6年度予算概算決定額 296（296）百万円】

<対策のポイント>

国が策定する養殖業成長産業化総合戦略やみどりの食料システム戦略を着実に実行し、輸出拡大も見据え国内外の需要に応じた**養殖業の成長産業化**を実現するため、戦略的養殖品目の関係者による戦略実行体制の整備等を支援します。

また、輸出拡大も見据えた養殖の増産に必要な餌、種苗に関する課題解決に向け、**輸入や天然資源に依存している魚粉の代替となる原料を用いた飼料等の開発や人工種苗の開発を実施**します。

<事業目標>

戦略的養殖品目の生産量の増加（409千t [平成30年度] → 620千t [令和12年度まで]）

<事業の内容>

1. 戦略的養殖品目総合推進事業

養殖業の成長産業化のための協議会や、日本真珠の競争力強化のための協議会の開催等の**戦略を実行するための関係者の取組**を支援します。

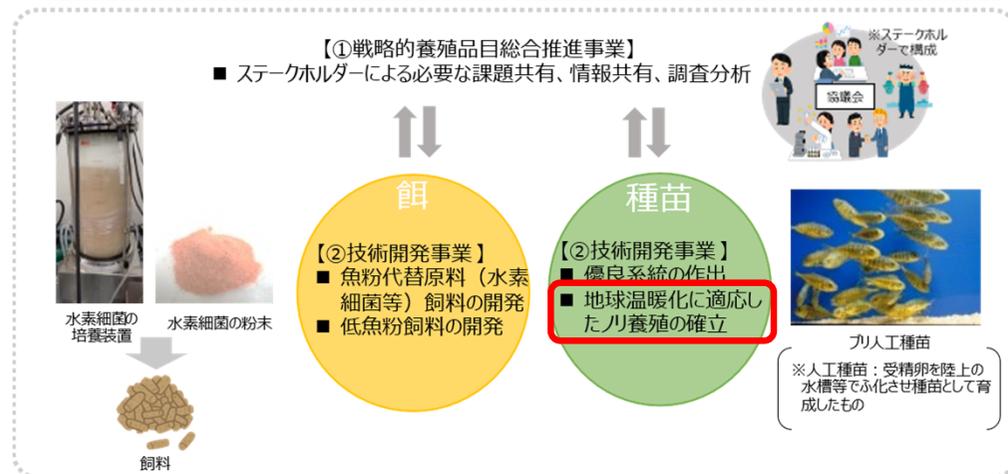
2. 養殖業成長産業化技術開発事業

輸入や天然資源に依存している魚粉の**代替となる原料**（水素細菌等）を用いた**飼料の開発**等を行います。

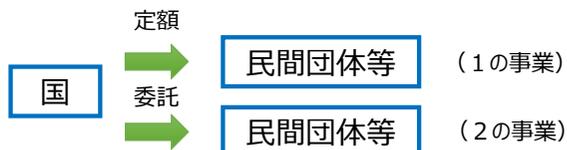
各種戦略の目標達成等の実現に資するよう生産性向上に必要な**優良系統の作出**（ブリ類、サーモン、クロマグロ）等を行います。

<事業イメージ>

「養殖業成長産業化総合戦略」 KPI（生産量）：2030年まで ブリ類24万t（2019年14万t） マダイ11万t（2019年6万t）	「みどりの食料システム戦略」 KPI：2050年まで ・クロマグロ、ブリ類等の人工種苗比率100% ・配合飼料化100%
---	---



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】水産庁栽培養殖課（03-3502-0895）
 研究指導課（03-6744-0205）

8. 課題への取組

(ノリ養殖をめぐる情勢について 令和6年5月 水産庁より)

温暖化に伴う海水温上昇

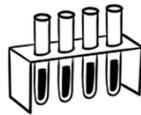
高水温等の環境に適応した品種の開発

- 高水温耐性や高生長性等に優れ、地域の海域特性や産業ニーズにあわせた品種の開発



- バイオスティミュラント（生物刺激剤）によるノリ種苗の環境耐性強化技術の開発※

※育苗期のノリをアミノ酸や微生物を懸濁した海水に浸漬することで、高水温等の環境ストレス下での生長阻害等が軽減される可能性が示唆されている



- ノリの生産に影響を及ぼす漁場環境（栄養塩・底質）の評価



鳥や魚による食害

食害対策手法の開発

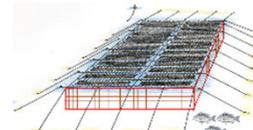
- 食害の実態把握と食害生物の出現・行動特性の解明



- 効率的な追い払い・防除技術の開発



光による威嚇



刺し網や延縄による漁獲・防護の効率化

- 食害生物の利用促進



- ・一般成分
- ・アミノ酸
- ・呈味成分

分析



栄養塩類の減少

栄養塩類対策の研究・開発

栄養塩類の減少への対策として、栄養塩類管理に向けた研究や栄養塩類の供給手法の開発を進めているところ。

- 栄養塩類管理に向けた研究

地域における栄養塩類の管理の取組に寄与するため以下を実施

- ① 栄養塩類と水産資源の関係に関する調査・研究
- ② 栄養塩類管理モデルの構築

- 栄養塩類の供給手法の開発

現地での実証とあわせてシミュレーションを行うことで効果的手法を開発

海底耕耘

